自ら考え学び合い　心豊かにたくましく生きる児童の育成

子どもと共に

宮内小だより

No.　１０

http://www.hatsukaichi-edu.jp/miyauchi-e/

令和６年１月９日

廿日市市立宮内小学校

あけましておめでとうございます
本年もどうぞよろしくお願いいたします

新たな年を迎え，保護者・地域の皆様をはじめ，関係するすべての方々に対し，謹んでごあいさつを申し上げます。令和６年が皆様にとりまして，幸多き年となりますよう祈念いたします。

今年は辰年。「辰」は，「ふるう，ととのう」を意味する「振」で，陽気が動いて万物が振動し，草木もよく成長して形が整った状態を表すといわれているようです。このことから，辰年は，陽の気が動いて万物が振動するので，活力旺盛になって大きく成長し，形が整う年だといわれているようです。

今年１年間が，保護者・地域の皆様にとって成長する年になることを願うとともに，子供達一人一人が目標をもち，調整しながら自分らしく目標を達成し，さらに成長できるよう，残りの３か月を職員一同一丸となって頑張りますので引き続きご支援，ご理解をよろしくお願いいたします。

やさしさあふれる学校に

～廿日市市いじめ防止対策推進月間の取組より～

１２月は廿日市市いじめ対策推進月間でした。５月の「命の大切さについて考える日」に考えた各クラスのスローガンに基づき，児童一人一人がいじめをなくすために「今，自分がしようと思うこと」を考えて宣言を書き，クラスごとに模造紙に貼って多目的教室に掲示しています。ご来校の際には，ぜひご覧ください。引き続き，いかなる場合でもいじめは許さないという意識を醸成し，いじめを許さずお互いの命を大切にする心情を育めるよう取り組んでまいります。

宮内の子ども達のために･･･　宮内育英会

「**親子三代がお世話になった宮内小学校のために尽くしたい，使ってほしい**」という山口宝一さんのお考えのもと，昭和４１年に「**宮内育英会**」が作られ，現在まで続いています。山口宝一さんは，昭和４７年４月，８８歳で亡くなられていますが，「**人のために尽くす**」という意思・考え，そしてその心は，今も受け継がれています。その山口宝一さんの生き方を，毎年６年生が道徳の授業で学んでいます。今年度は，１１月の道徳参観日に実施しました。誰かのために尽くす思いを子ども達に引き継いでいってほしいと思います。今年度も，多大なご寄付により，ジャングルジム，高跳びセット，ミシン，オルガン，給食配膳用ワゴン，バランスクッション，防水熱中症計，防ダニマットレス，洗濯機を購入させていただき，児童の学習に役立てています。

･･･宮内育英会･･･

山口宝一さんは，明治27（1894）年に宮内小学校卒業。16 歳の時，新天地を求めてアメリカに移住。苦労しながらも大正8（1919）年に農場主になる。昭和28（1953）年，アメリカで築いた財産をもって日本に帰国。渡米中に，安心した生活ができるようになった人は社会貢献活動や寄付などをするという心豊かな生き方に感銘を受け，帰国後，自分もいつか同じような生き方をしたいと考えていた。子育てを終えた昭和41（1966）年，自分が卒業した宮内小学校に850万円（現在の価値に換算するとおよそ1億円）相当の株券を寄付。その寄付を守るために，学校と PTA の人達が中心となってできたのが宮内育英会。

宮内育英会では，寄付された株券からの配当金を管理し，末永く宮内小学校の子ども達のために使えるようにしている。

学校教育充実に向けた保護者アンケート
ありがとうございました

１２月に今年度下半期の学校の取組を評価していただく学校生活充実に向けたアンケートを配信させていただきました。お忙しい中，ご回答ありがとうございました。結果につきましては，集計・分析し，後日，お知らせいたします。

裏面に，１月・２月の予定があります。